

いまいは
今
vol.242

発行 今井町町並み保存会
発行日 令和2年8月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

令和2年今井灯火会について

例年の各町内で一人ひとりが灯りを灯し並べてきた「今井灯火会」は実施いたしません。

代わりに春日神社境内におきまして、新型コロナウイルスの早期終息と病氣平癒祈願の灯りを灯します。

お参りの方はコロナ対策を十分心がけておいでください

日時 令和2年8月8日(土)

午後7時から午後9時

会場 今井町春日神社

内容 ・町名が書かれた行灯等の点灯

・被災地支援のための義捐ろうそくの灯火

・七夕飾り

※当日は令和2年7月豪雨災害義援金の募金箱を設置し、浄財は被災地支援のため日本赤十字社に送ります。

はならあと2020こゝあ プレ企画

「職人と一緒にかまどを作ろう！」
かまど作りワークショップ

in 檀原市今井町

恒例のはならあと2020は、今年は今井町がメインの会場になります

環境問題をテーマとした地球に優しいエコロジカルな芸術祭を開催します。

そのプレイベントとして、昔のエコな生活を学び、自然の材料だけで丁寧な暮らしを体験して

もらえるかまど作りのワークショップを行います。



主役となるのは、檀原市今井町に所在する阿伽陀屋若林亭。

職人たちと住人により、丁寧にひとつずつ、修復・再現されてきた町家で、現役の

かまど職人が講師となり、かまどについてのプチ講座つきのワークショップ。全5回で土からかまどを昔ながらの手法で参加者と共に作ります。

《日時》

8月9日(日) 干し土レンガ作り

16日(日) 土台基礎作り

30日(日) かまど本体築造

9月6日(日) かまど本体築造続き

10月11日(日) 土塗り仕上げ

午前10時〜午後3時(お昼休憩込み)

《場所》阿伽陀屋若林亭

今井町4丁目11-26

《参加料》一回五百円(昼食付)

《持ち物》タオル、汚れても良い服装(着替え場所有り)、水筒

《対象》高校生以上

職人の手仕事を知りたい、町家が好きな人、自然素材が好きなお人、まちづくりに興味のある方、環境問題に興味のある人

《申し込み》氏名、年齢、参加希望日、連絡先を記名の上、はならあと事務局まで、実施前日までにメール(info@hanarart.jp)でお申し込みください。

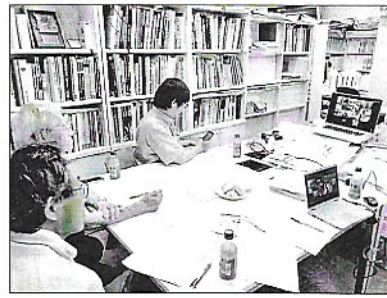
※参加費は当日受付でお支払いください。



全国町並み保存連盟総会

7月9日(木) 14時～16時に2020年度通常総会を開催し、議案はすべて承認されました。

今回の総会は、6月に東京の柴又帝釈



天で開催を予定していましたが、新型コロナウイルスウィルス感染防止のため書面開催とし、事務所に議長の福川裕一理事長、議事録署名人の殿塚治副理事長と荒牧澄多常任理事、事務局長の山本が集まり、8名の会員さんがZOOM

OM参加しました。

議案を承認してから、WITHコロナの今、なかなかリアルに会えない状況で、どんな活動をしていくか、議論されました。今月発行予定の「町並みかわら版」でもお知らせしていきます。

(連盟フェイスブックより)

テレビ放送

「出沒！アド街ック天国」

7月4日にテレビ東京で放送された「出沒！アド街ック天国」の「ニッポン

郷愁の風景が残る街」で今井町が一位になりました。2007年の同番組の

「今、散策したい！ニッポン懐かしい風景が残る街 BEST77」に続いての一位獲得です。奈良テレビでの再放送が予定されていますのでぜひご覧ください。

日時 8月8日(土)

午後12時～12時55分

放送局 奈良テレビ放送

※放送時間が変わる場合があります。ご了承ください

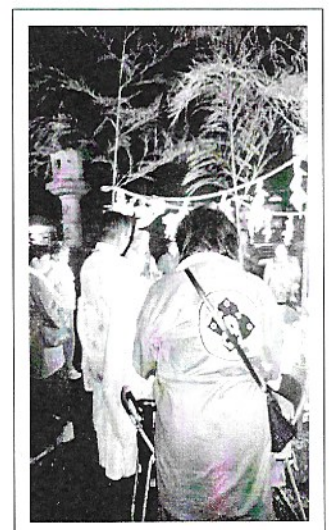
醤油蔵ドールハウス展示中

先月号で紹介した朝日放送の「LIFE」に登場した恒岡醤油醸造本店のドールハウスが華薨で8月16日(日)まで展示されています。

他にも同じドールハウス作家「シックスカート」として活躍されている植田定信さんのバス亭などの作品も展示されていますので、ぜひ足をお運びください。

今井町の夏の行事

今井町の夏の行事の行者まつり、太神宮さん、お地藏さんが新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、無事に終わりました。



行者まつりでは、護摩木が焚かれる熱い中、行事の参加者はマスクをつけ、人ととの間を十分に取しながらの参加となりました。

今井往来

※8月の順明寺のラジオ体操は中止です。小学校のラジオ体操の開催の有無については決まり次第、保存会ホームページでお知らせします。

編集後記

今年のはならあとの出版作家で現在フランスで活躍されている作家の方が、今なお日本に帰国できない状況にあります。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大は脅威ではありますが、いつか閉塞していくことは過去の歴史が証明しています。

子どもたちにとっては残念ながら短い夏休みですが、有意義にお過ごしください。